

## 1.2 地域特性

### (1) 人口減少の進行と少子高齢化への対応

霧島市は、1市6町の合併により人口約127,000人の県下第2の人口を有する\*地域中核都市として誕生した。現在のところ、転入者及び出生者の総数が転出者及び死亡者の総数を上回っており、人口はわずかながら増加している状況である。しかし、霧島市においても、今後はさらに少子高齢化が進行すると予測され、転入人口を確保し続けなければ、現在の人口規模を維持することは困難であると思われる。このことは、一部の大都市を除く多くの市町村に共通する課題であり、今後、定住人口確保のための市町村間競争はますます激化することが予想される。

そのような中において、霧島市が安定的・持続的に発展するためには、人口増対策として若年層及び全国に約680万人とも言われる団塊世代等のI・J・Uターンによる移住・定住促進策を充実させる必要がある。特に若年層の移住・定住のためには、「安心して働き、子育てのできる町」として他の市町村に対する優位性を打ち出し、町の魅力を高めることが必要となる。

一方、高齢者数は今後も増加し続け、市の総人口に占める割合はますます高くなるものと予想されるが、市民の多くは、健康でいつまでも住み慣れた地域で暮らし続けることを望んでいる。また、高齢者の多くがこれまで培った経験と多彩な能力を発揮できる場を求めていることから、高齢者が安心して、生きがいを持ち、尊重されながら暮らすことができる地域社会の構築が必要である。

### (2) 地方分権の推進

地方分権が進み、様々な権限が国や県から移譲されることに伴い、新しい分野やより専門性の求められる事務の増加が予想される。このため、職員の資質向上を図るとともに、地方分権に対応できる体制づくり（組織機構の整備・財政基盤の健全化）を進め、県央の地域中核都市としての機能強化を図る必要がある。

また、町づくりの進め方も、これまでの行政主導による手法ではなく、市民と行政が一体となった町づくりの仕組みを充実させることにより、生活者である市民の意向を市政運営に的確に反映させていくことが重要である。その一環として、行政評価の視点を強化し、「企画—実施—評価」という行政経営のサイクルを市民と行政が協働しながら進めていく必要がある。

---

#### \*地域中核都市

合併により新たに誕生した人口10万人以上の都市で、県都鹿児島市と相互に連携し合うネットワーク型の県土の形成が期待される「各地域の中核となる都市」を鹿児島県が「地域中核都市」と位置づけている。（霧島市、薩摩川内市、鹿屋市の3市）

### (3) 地域特性を活かした産業の発展

霧島市の主な基盤産業は、製造業、農業及び観光業となっている。特に製造業は基盤産業の生産額全体の大半を占めており、製造業の成長を持続させることが、市経済の安定的な発展を支えるための重要なポイントになる。

今後、インターネットの普及等により、\*フラット化が進行することに伴い、人材やビジネスチャンス等を求めて海外に工場を立地させる企業が増加し、国内における新規の企業誘致が困難になることも予想される。そのような状況の中で、企業が新規進出の場として国内外の他地域ではなく霧島市を選択したくなるような支援制度や環境の整備、既に立地している企業の持続的な発展に資するような新たな施策の展開が必要である。

また、派遣労働者・フリーターの増加などの就業形態の変化、就業人口の減少に加え、農業等における後継者不足など、産業を取り巻く環境は大きく変化しており、新規産業の育成や既存産業の再構築の促進等により安定した雇用・就業環境づくりに努め、市民が安心して暮らせる町づくりを推進する必要がある。

### (4) 有効な土地利用と都市機能の充実

土地は、限られた貴重な資源であるとともに、市民が将来において生活を営み、生産活動を展開していくための重要な基盤である。

霧島市の面積は、603.68平方キロメートルで県内第2の面積を有し、県総面積の約6.6%を占めている。また、土地の形態は自然公園地域、森林地域、農業地域及び都市地域に分類され、霧島連山から裾野に広がる平野部にいたるまでの高低差に富んだ多彩な特徴を持った地域である。

しかしながら、市民意識調査の結果によると、地域に合わせた土地利用や秩序ある開発が行われていないと感じている市民の割合が高く、市街地においては、景観を含めた都市機能の低下や交通渋滞の発生などの問題も生じている。今後は、適切な都市計画を策定し、大型店舗の無秩序な立地の防止や道路ネットワークの整備、公共交通機関の充実による\*市街地の交通渋滞の解消などを推進し、快適な都市環境を実現することが必要である。

さらに、人口増、雇用拡大につながる新たな企業等の誘致や移住・定住の促進などに向けた市有地の利活用など、霧島市の地理的条件、地域の特性を活かした都市機能の充実が必要である。

---

#### \*フラット化

インターネットの普及等により、先進国とその他の国の労働者や企業が同一の市場において同一の立場で競争するようになった事態を指している。このため、生産地や人材等が世界中から選考されるようになり、企業及び個人の競争が世界的な規模のレベルで発生している。

#### \*市街地

国分・隼人地区の市街地を指している。

#### (5) 高度情報化への対応

近年の急速な情報技術の進展により、多くの市民が様々な情報のやり取りを容易に行うことができる環境が整備されてきているが、市民へのより充実したサービス・情報の提供のためには、地域における情報化のさらなる推進が必要となっている。

市民の誰もが必要な情報の入手や発信を容易に行うことが可能となるよう市全域における情報通信基盤の環境整備が進む中、携帯電話の通信地域やブロードバンド整備地域におけるサービス利用促進に向けた通信会社等への働きかけや連携などへの取り組みが必要である。

また、情報通信技術を積極的に活かして、地域の様々な課題解決に向けた取り組みが必要である。

なお、市民が安心して情報のやり取りができるよう、個人情報の保護などにも配慮する必要がある。

#### (6) 循環型社会の構築

近年、市民の環境保全に対する意識は高まりをみせているものの、家庭から排出される一般ごみの量は増加傾向にある。このため、ごみの発生抑制、再利用、再生利用へのさらなる取り組みの強化が必要である。

また、地球温暖化やオゾン層の破壊など地球規模での環境問題が深刻になっており、限りある資源の有効活用や自然環境の保全が大きな課題となっている。霧島市においても、恵まれた豊かな自然の保護に努めるとともに、生活様式や事業活動の見直しにより、持続可能な循環型社会の実現に向けた取り組みを進める必要がある。

#### (7) \*中山間地域の活性化

霧島市は、市街地と中山間地域において人口動態の二極化が進んでおり、市街地においては人口が増加傾向にある一方、中山間地域においては人口が減少している。

それに伴い、青年層・中年層も減少し、商業活動やコミュニティ活動などの水準の維持が困難となっている地域がある。この地域への青年層・中年層の定着を図るためには、中山間地域ならではの魅力を都市住民に知ってもらい交流を進めることや、主要産業である農業及び観光業の所得面での魅力を向上させることが重要である。このため、戦略的な経営を実施することのできる人材の育成などに重点的に取り組み、農業、観光業を振興する必要がある。

また、過疎化による土地の荒廃への対策を進めるとともに、安心して日常生活を送れるよう、地域内及び市街地との交通アクセスを容易にする必要がある。

---

\*中山間地域

国分・隼人地区の市街地を除く、他の地域を指している。

## 霧島市地区別特性整理

地区	地区特性	地域情報基盤整備状況
国分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の約 44%が居住する中心的な地区である。</li> <li>・工業においては、テクノポリスの指定を受け、先進企業の大型工場が立地している。</li> <li>・従業員数、製造品出荷額でも鹿児島市に次ぐ工業都市である。</li> <li>・観光拠点としては、「上野原遺跡」がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光、ADSL回線利用可</li> <li>・ケーブルテレビ利用可能（一部未整備）</li> <li>●アンケートからの回線満足度               <ul style="list-style-type: none"> <li>・住 民：43.0%</li> <li>・事業所：64.1%</li> </ul> </li> </ul>
溝辺	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島空港が存在し、九州自動車道の設置等整備され、鹿児島県の空陸の玄関口</li> <li>・鹿児島臨空/久留味川工業団地が存在するが空き地がある。</li> <li>・基幹産業は農業。溝辺茶は有名で県内外に多くの愛飲家がいる。また、ぶどう、いちご、梨狩りなど観光農園もさかん。</li> <li>・全域に「ケーブルテレビ」が整備され、加入率は約 98%だが、インターネット加入率は約 12%と低迷。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・溝辺町ケーブルテレビから 30Mbps までのブロードバンドサービスが利用可</li> <li>・「十三塚原」エリアで「光回線」利用可</li> <li>●アンケートからの回線満足度               <ul style="list-style-type: none"> <li>・住 民：31.0%</li> <li>・事業所：30.8%</li> </ul> </li> </ul>
横川	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島空港に隣接し、九州自動車道横川IC整備により、臨空地帯として高度技術産業集積地域の一角をなし、上ノエリア中心にハイテク企業等 21 社の進出もある。</li> <li>・農産品としては、茶・栗・椎茸・牛肉などがあげられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ADSL回線利用可</li> <li>・「上ノ」エリア工業団地企業からは、光回線要望がある。</li> <li>●アンケートからの回線満足度               <ul style="list-style-type: none"> <li>・住 民：0.0%</li> <li>・事業所：20.0%</li> </ul> </li> </ul>
牧園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・霧島屋久国立公園を抱える温泉、登山といった全国的観光地であり、県内外より多くの観光客が訪れる。</li> <li>・宿泊施設も 40 施設存在し、鹿児島県屈指の温泉郷。</li> <li>・霧島国際音楽祭等さまざまなイベントが開催される。また、ゴルフ、乗馬、陶芸、キャンプ等多彩でスポット満載な地区。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ADSL回線利用可</li> <li>・霧島温泉郷の観光施設も未整備（各観光協会からは、強い要望がある）</li> <li>●アンケートからの回線満足度               <ul style="list-style-type: none"> <li>・住 民：15.8%</li> <li>・事業所：16.7%</li> </ul> </li> </ul>
霧島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島県と宮崎県にまたがる霧島連峰を仰ぐ南北に長い地形。</li> <li>・霧島神宮一帯を中心とする霧島神宮温泉郷がある。</li> <li>・ペンション、別荘地も数多く存在し、県内外の多くの観光客が訪れる。</li> <li>・農産品としては、茶・黒豚・椎茸で、柿・ブルーベリーなどの観光農園もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ADSL回線利用可</li> <li>・観光協会からは、ブロードバンド整備の強い要望がある。</li> <li>●アンケートからの回線満足度               <ul style="list-style-type: none"> <li>・住 民：23.5%</li> <li>・事業所：66.7%</li> </ul> </li> </ul>
隼人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島空港、JR線、高速自動車道路(国道)等が整備された陸海空の要衝である。</li> <li>・先端技術関連の先進企業、県工業技術センター及び地場企業が立地する工業都市。</li> <li>・鹿児島高専等の高等教育機関も存在する。</li> <li>・鹿児島神宮の「初午祭」、鹿児島で最も古いと言われる日当山温泉がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光、ADSL回線利用可</li> <li>・ケーブルテレビ利用可能（一部未整備）</li> <li>●アンケートからの回線満足度               <ul style="list-style-type: none"> <li>・住 民：34.7%</li> <li>・事業所：38.5%</li> </ul> </li> </ul>
福山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島湾奥部に位置し、気候が温暖な下場地区と冷涼な上場地区に大別され、それぞれ立地条件を生かした農業生産を行っている。</li> <li>・200年前、福山地区にて「くろず」製造が始まり、全国有数の「黒酢」生産地区である。</li> <li>・製造業者は、インターネットHP等による商品紹介を積極的にやっている。</li> <li>・畜産も盛んであり「福山黒牛」として全国の肉牛産地へ出荷されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ADSL回線利用可</li> <li>●アンケートからの回線満足度               <ul style="list-style-type: none"> <li>・住 民：8.3%</li> <li>・事業所：25.0%</li> </ul> </li> </ul>

資料：霧島市地域情報化計画  
アンケートは平成 18 年 10 月に実施